



研究活動報告

雑誌名	筑波大学先史学・考古学研究
号	24
ページ	125-127
発行年	2013-03
その他のタイトル	Department Activities and Publications in 2012
URL	http://hdl.handle.net/2241/00123556

研究活動報告

『筑波大学先史学・考古学研究』第23号発刊

考古学実習（茨城県つくば市・桜塚古墳）

常木 晃, 滝沢 誠, 和泉直樹, 田代恵美, 宮内優子（期間：11/25～12/14）

先史学実習（栃木県佐野市・山菅石灰焼成窯）

三宅 裕, 和泉直樹, 田代恵美, 宮内優子（期間：11/6～11/11）

常木 晃 南イラン・アルサンジャンプロジェクト. Tell el-Kerkh as a Neolithic Mega Site, *Orient* 47. The Meaning of Neolithic Stamp Seals, *8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Abstracts*. Tappeh Sang-i Caxmaq and the Origin of the Jetun Culture, *Workshop on the Archaeology of Neolithic and Early Chalcolithic / Aeneolithic Central Iran and Turan, Abstract*. The Arsanjan Prehistoric Project and the Significance of Southern Iran in Human History, *Papers in Honour of Massoud Azarnoush*. The Arsanjan project 2011-2012, *The 11th Annual Symposium of Iranian Archaeology, Abstracts*. Archaeological excavations at Seyed Khatoon cave (A5-3), *Exhibition of the Newly Discovered Archaeological Finds* 35. 「南イランにホモ・サピエンスの足跡を探る—アルサンジャン・プロジェクト2011—」『考古学が語る古代オリエント2011』日本西アジア考古学会（共著）. 『西アジアの地質とテクトニクス』「新学術領域研究の紹介：目的と到達点・地質学に求めるもの」（口頭発表）. The Meaning of Neolithic Stamp Seals, *8th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East*.（口頭発表）. University of Tsukuba and Archaeological Investigations in Iran, *Lectures on the Archaeology and Cultural Heritage of Iran and Beyond*.（口頭発表）. Workshop on the Iranian Archaeology and Cultural Heritage（口頭発表）. Tappeh Sang-i Caxmaq and the Origin of the Jetun Culture, *Workshop on the Archaeology of Neolithic and Early Chalcolithic / Aeneolithic Central Iran and Turan*（口頭発表）. The Arsanjan project 2011-2012, *The 11th Annual Symposium of Iranian Archaeology*（口頭発表）. The Arsanjan Project, 2011, *Research Center of the Iranian Cultural Heritage, Handicrafts and Tourism Organization and University of Tsukuba*（共同発表）. 『筑波大学複合タンDEM加速器施設の新展開—タンDEM加速器更新計画と今後の研究展望』「西アジア文明の考古学的研究—C-14年代測定研究への期待—」（招待講演）.

三宅 裕 トルコ, ハッサンケイフ・ホユック遺跡の発掘調査. 「乳の流れる地「西アジア」—乳利用と乳製品の起源を探る—」『ORIENTE』44. Salat Cami Yan: A Pottery Neolithic Site in the Tigris Valley, *The Neolithic in Turkey: New Excavations and New Research: Tigris Valley*. 「初期定住集落の姿を探る：トルコ, ハッサンケイフ・ホユック2011年度の調査」『第19回西アジア発掘調査報告会報告集』（共著）. New Excavations at Hasankeyf Höyük: A 10th Millennium cal. BC Site on the Upper Tigris, Southeast Anatolia. *Neolithic* 1/12（共著）. 第19回西アジア発掘調査報告会「初期定住集落の姿を探る：トルコ, ハッサンケイフ・ホユック2011年度の調査」（口頭発表）. 『ユーラシア乾燥地域の農耕民と牧畜民：考古学, 民族学, 文献史学の視点から』「西アジア型農耕と乳利用」（口頭発表）. 日本西アジア考古学会第17回大会「南東アナトリアにおける定住化—一定住を支えた生業の検討—」（口頭発表）. 『乳利用の有無からの牧畜論再考—旧・新大陸の対比』「考古学からみた西アジアにおける乳利用の起源とその意義」（口頭発表）. 西アジア考古学フォーラム2012：古代オリエントの神殿・聖域「新石器時代の神殿？ 農耕牧畜以前の聖域について」（口頭発表）.

滝沢 誠 茨城県つくば市桜塚古墳の発掘調査. 岐阜県本巣市船来山24号墳出土遺物の調査. 『神明山1号墳発掘調査報告書—第6・7次調査—』（編著）. 「副葬品からみた高尾山古墳」『高尾山古墳発掘調査報告書』. 「東日本における古墳時代の斜交埋葬施設」『筑波大学先史学・考古学研究』23. 「古墳出現期の沼津」『沼津の古代遺跡を考える』. 歴史人類学会第33会総会「古墳時代前半期における小型古墳の性格」（口頭発表）. 『高尾山古墳シンポジウム—スルガの王大いに塚を造る—』「高尾山古墳と駿河の前期古墳」（口頭

- 発表). 平成 24 年度とろはく考古学講座「静岡・清水平野の古墳時代」(講演). 「古墳時代の東海と関東」『平成 23 年度千葉県遺跡調査研究発表会要旨』(基調講演).
- 谷口 陽子 東京藝術大学美術学部油画技法材料研究室 非常勤講師. 常陸大宮市泉坂下遺跡保存委員. 「油彩画」の起源と展開について—中央アジア仏教壁画の彩色技法・材料から—『きらめく色彩とその技法 工房の実践プラクティスを問う—東西調査報告からみる色彩研究の最前線—』. 「有機物質の分析に関する意義と課題」『彩色文化遺産の有機物質の分析に関するシンポジウム予稿集』. *Wissenschaftliche Untersuchungen der Kizil-Wandmalereien* (共著). *Auf Grünwedels Spuren: Restaurierung und Forschung an zentralasiatischen Wandmalereien* (共著). *Das Deutsch-Japanische Forschungsprojekt zu den Wandmalereien aus Kizil, Auf Grünwedels Spuren: Restaurierung und Forschung an zentralasiatischen Wandmalereien* (共著). *Lectures on the Archaeology and Cultural Heritage of Iran and Beyond, Conserving Cultural Heritage of Bamiyan, Afghanistan* (講演). 虎塚古墳壁画断片資料を用いた技法材料調査 (ポスター発表). 彩色文化遺産の有機物質の分析に関するシンポジウム「有機物質の分析に関する意義と課題」(口頭発表). 文化財保存修復学会 (口頭発表). *Conserving Bamiyan's wall paintings: practical issues and dilemmas*, Buddhist Art Forum, Courtauld Institute of Art (招待講演). シリアで発掘された古代青色ビーズに対する X 線分析 (ポスター発表). 公益社団法人日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 (ポスター発表). 第 48 回 X 線分析討論会 (ポスター発表). 第 7 回バイオミネラルゼーションワークショップ「古代青色ビーズに対する X 線分析」(ワークショップ).
- 小野塚拓造 Keeping Up with the Demand for Oil? Reconsidering the Unique Oil Presses from Late Bronze Age IIB to Iron Age IIA in the Southern Levant, *Orient* 47. 歴史・人類学会例会「古代パレスチナにおけるオリブ油生産の産業化プロセスとその背景」(口頭発表). Seoul Biblical Archaeology Symposium, Cultural Diversity in Early Iron Age: What was behind the Book of Judges? (口頭発表).
- 清家 大樹 第 64 回アンデス牧畜研究会「先スペイン期ペルー北部高地におけるラクダ科飼養に関する動物考古学的研究」(口頭発表). 第 66 回日本人類学会大会「鎌倉市中世集団墓地遺跡 (青果市場地点) から出土した人骨」(共同ポスター発表).
- 鈴間 智子 「墓石の流通」『松前の墓石から見た近世日本』
- 荒 友里子 「茨城県つくば市金田古墳の測量調査」『筑波大学先史学・考古学研究』23. 「南シベリアの青銅鍍の鑄造技術に関する調査と実験」『FUSUS』4 (共著). 「矢木法の鑄造実験」『FUSUS』4 (共著). 「古代における燃焼消失原型鑄造法使用の可能性」『FUSUS』4 (共著).
- 大村 冬樹 「人物埴輪の製作技法からみた古墳時代後期の常陸」『筑波大学先史学・考古学研究』23.
- 中村麻衣子 Lithic Artifacts from Layers 1 and 2, *Arsanjan field report 2012*. Lithic Artifacts from Structure 1, 2 and 3, *Arsanjan field report 2012*. Workshop on the Iranian Archaeology and Cultural Heritage, Lithic Archaeology in Arsanjan Area (口頭発表).
- 増森海笑 D. 「西アジア先土器新石器時代研究の動向」『筑波大学先史学・考古学研究』23. 「生者と死者の分離—新石器時代の北レヴァントとアナトリアにおける埋葬人骨分布と副葬品の分析—」『西アジア考古学』13. 「新石器時代のアナトリアにおけるアイデンティティのあり方—装身具と居住施設の分析から—」『日本西アジア考古学会 第 17 回総会・大会要旨集』. 日本西アジア考古学会第 17 回大会「新石器時代のアナトリアにおけるアイデンティティのあり方—装身具と居住施設の分析から—」(口頭発表).
- 三宅 慶 Second Forum for the Euro-Japan Academic Networking for Humanities Project: Human Studies in the Twenty-first Century, Archaeological research of urbanization in West Asia (口頭発表).
- 和泉 直樹 研究課題: 円筒印章からみた青銅器時代西アジアの社会
- 田代 恵美 研究課題: 新石器時代レヴァント・アナトリア地域における埋葬儀礼
- 宮内 優子 研究課題: 西アジア新石器時代における埋葬

平成 24 年度卒業論文一覧

先史学・考古学コース

園田 遥 「トビニタイ文化の形成とその背景」

楯 奈津美 「縄文イノシシ観 一発掘資料から探る 縄文人の思い一」

牧 武尊 「縄文時代の動物に関する儀礼について」

丸川 尚子 「清州城下町遺跡出土の陶磁器」

矢部加奈子 「北部九州出土の武器型青銅器鋳型」